

News Release

「長期使用製品安全点検制度」をご存じですか？ ～古い製品は今すぐ点検を～

1. 事故の発生状況

平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間に NITE に通知された製品事故情報^{※1}のうち、長期間の使用によって部品などが劣化して発生した事故は、北陸 3 県（富山県、石川県及び福井県）で 15^{※2}件ありました。

(1) 県別の年度別事故発生件数

県別の年度別事故発生件数を表1に示します。

表 1 県別の年度別事故発生件数（平成 25～29 年度）

発生年度	富山県	石川県	福井県	合計	
平成 25 年度	2	1	1	4	
平成 26 年度	1	2	0	3	
平成 27 年度	3	1	0	4	
平成 28 年度	1	1	0	2	
平成 29 年度	1	1	0	2	
合 計	事故件数	8	6	1	15
	火災件数	[1]	[4]	[1]	[7]

(2) 県別の被害状況別事故発生件数

県別の被害状況別事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 県別の被害状況別事故発生件数（平成 25～29 年度）^{※3}

被害状況	富山県	石川県	福井県	合計	
人的被害	死亡	0	0	0	
	重傷	0	0	0	
	軽傷	0	0	0	
物的被害	拡大被害	4	1	1	6
	製品破損	4	4	0	8
被害なし	0	1	0	1	
合 計	8	6	1	15	

※1: 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2: 重複、対象外情報を除いた事故発生件数

※3: 表 2 において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 部品などが劣化して事故が発生した事例

○ガスふろがま

- ・長期使用によるガスふろがまの焼損
- ・2015年12月（富山県、男性、年齢不明、製品破損）

【事故の内容】

ガスふろがま使用中、ガスふろがまが焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

長期使用（約25年）により、ふろ側ガスガバナ（ガス量調整部品）内部のNBR製ダイヤフラムが劣化したことで亀裂が発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火したものと考えられる。

○石油給湯機

- ・長期使用による石油給湯機からの出火
- ・2016年1月（富山県、年齢性別不明、製品破損）

【事故の内容】

石油給湯機を使用中、石油給湯機から出火した。

【事故の原因】

長期使用（約16年）により、灯油をバーナーに供給する電磁ポンプのOリングが劣化し、漏れた灯油に引火して機器内部が焼損したものと考えられる。

○石油給湯機

- ・長期使用による石油給湯機からの発煙
- ・2013年10月（石川県、性別年齢不明、被害なし）

【事故の内容】

石油給湯機を使用中、石油給湯機から異臭がし発煙した。

【事故の原因】

長期使用（約7年）により、石油給湯機の熱交換器内部に煤がたまり不完全燃焼して発煙したものと考えられる。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 製品安全技術課

担当者 樋口、矢代

電話：076-231-0435